

冬季オリンピック・パラリンピック招致調査特別委員会

参考人プロフィール

パラノルディックスキー日本チーム ゼネラルマネージャー あらい ひでき 荒井 秀樹 氏

【略 歴】

中学生時代にクロスカンリースキーを始める。1972年札幌オリンピックの全道ジュニア強化選手に選ばれるなど活躍する。家庭の事情により競技を一旦離れたが東京の大学に進学後、競技を再開。全日本大会や国体などに出場しながら、南関東の中高校生の指導にも当たっていた。それが縁で、1998年長野パラリンピックに向け、パラノルディックスキーの組織化、選手強化、指導、育成を懇請される。以来、長野、ソルトレーク、トリノ、バンクーバー、ソチ、平昌と6大会連続でメダリストを輩出。2004年には日本初のパラリンピックを目指す本格的な実業団チームを設立し、パラ選手・ガイド・監督・コーチが企業からのサポートを受け、トレーニングに専念できる環境を確立。さらにシットスキー用具の開発など日本企業を巻き込んで競技技術発展にも大きく貢献。現在、東京と北海道の大学で「パラリンピック概論」の講義を行い、パラスポーツ・パラリンピックへの理解を広げる活動に力を注いでいる。

【社会的活動】

- ・ VIRTUS 国際知的障害者スポーツ連盟 スキー委員会委員長
- ・ WPNSS 世界パラノルディックスキー連盟 コーチアドバイザー
- ・ 公益財団法人日本パラスポーツ協会 評議員
- ・ 公益財団法人全日本スキー連盟 クロスカンントリー技術代表
- ・ 特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟 常任理事
- ・ 北海道エネルギー株式会社パラスキー部 監督
- ・ 星槎道都大学経営学部特任教授



冬季オリンピック・パラリンピック招致調査特別委員会

参考人プロフィール

日本女子カーリング選手 おおみや あんな
近江谷 杏菜 氏

【略 歴】

長野オリンピック日本代表でもある父の影響を受け、常呂小学校4年生の10歳よりカーリングを始め、ジュニア大会などでは、数多くの優勝を手にし、2008年「チーム青森」へ正式入団する。その年の第25回日本カーリング選手権で優勝し、2008年第29回世界女子カーリング選手権へ日本代表として出場し、4位となった。2010年バンクーバーオリンピックでは、女子カーリング競技日本代表として出場し、8位となった。2015年から北海道銀行フォルティウスに加入し、日本選手権優勝2回、北京オリンピック代表決定戦出場、現在は女子カーリングクラブチーム「フォルティウス」のメンバーとして活動している。

【競技歴：カーリング】

- 2008年 第25回日本カーリング選手権 優勝
- 第29回世界女子カーリング選手権 4位
- 2009年 第26回日本カーリング選手権 優勝
- パシフィックカーリング選手権 2位
- 2010年 バンクーバー冬季オリンピック：8位
- 第27回日本カーリング選手権 優勝
- 第31回世界女子カーリング選手権 11位
- 2011年 第28回日本カーリング選手権 2位
- 2012年 第29回日本カーリング選手権 3位
- 2015年 第32回日本カーリング選手権大会 - 優勝
- 2021年 第38回日本カーリング選手権大会 - 優勝
- 2021年 北京オリンピック日本代表決定戦 出場
- 2021年 パシフィックアジアカーリング選手権 優勝

